

## 仕事と生活の調和推進に向けた取組の加速化について

平成 26 年 9 月 10 日

日本生産性本部

### (全体的な取組の考え方)

- 取組の加速化に関しては、2006 年に発足して 8 年目に入った「ワーク・ライフ・バランス推進会議」の諸活動を通じて、中央および地方における啓発活動として一層の推進。
- 具体的には、本年度のワーク・ライフ・バランス大賞が現在募集選考中であり、その発表や広報資料の作成等を行い、それらによる企業等への啓発普及。また、ワーク・ライフ・バランス・カンファレンス（11 月 10 日開催予定）において、今後の取り組み方向の関する討議等の中でその問題意識の反映とアピール文の発表を検討。

### (個別の取組課題)

- 雇用管理の改善の問題については、経営環境の変化の中での人事賃金制度の今後の在り方に関し、内部で検討を進めているところであり、その際に関連する問題点の一つとして考慮。
- 女性の継続就業の促進については、女性活躍推進を図る民間運動である「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」（2008 年から活動展開）において、その問題意識も踏まえながら、ダイバーシティ推進のための諸活動を推進。
- 具体的な女性活躍推進のための取組については、日本生産性本部の事業として、「女性活躍力総合診断」「コア人材としての女性社員育成に関する調査」（2009 年から毎年実施）のほか、企業に対する教育研修を実施しているところであるが、更に企業への直接的な支援が強化できるような方策を検討。